

第13回会津若松市環境大賞 受賞者一覧

部門名	個人/団体等	氏名/団体等名	選考結果	
環境大賞	事業所	若松ガス株式会社	事業所独自の「中期環境アクションプラン」に基づき、社員全員で、節電等の省エネ活動やごみ分別、車両燃費の向上などに努めており、2010年にはISO14001を取得した。また、太陽光パネル(7.7KW)やLED照明、天然ガス自動車など、省エネ設備の導入も推進している。さらには、毎年周辺地区の清掃活動を行うほか、出前教室やエコクッキング教室で子どもたちへの環境教育にも尽力している。このように、非常に幅広い分野で環境活動に取り組む姿勢は、他の事業所はもちろんのこと、市の模範となるものと高く評価できる。	
環 境 賞	エネルギー部門	団体 会津若松市立 謹教小学校	エコ委員会を中心に、児童・教職員が、節水・節電・古紙回収、牛乳パックの回収、ゴミの分別などの省エネ活動・リサイクル活動を実施しており、毎週、各クラスでエコチェックを行いながら、次の活動へとつなげている。夏場には、ヘチマのグリーンカーテンを設置するなど、学校全体で省エネに取り組む姿勢が評価に値する。	
	リサイクル部門	—	—	該当なし
	美化部門	個人	松田 美恵子	数年前から環境美化推進協議会、生活環境保全推進員の会員として定期的な清掃活動やごみのポイ捨て・犬フン放置のパトロールに参加することはもちろん、春～秋の期間は、毎朝、約1～2時間程度自宅周辺(約1～2km)の清掃を日課としている。町内が少しでもきれいになればと、清掃活動に真摯に取り組む姿勢は、周囲の住民の環境意識の高揚に大きく貢献するものである。
	美化部門	団体	行仁地区環境美化 推進協議会	「地域住民全員参加」を合言葉に、長年にわたり、地区の公園・神社・道路の清掃活動や落ち葉清掃活動等を先導してきた。地区の子どもたちにも清掃活動への参加を呼びかけることで、環境教育や地域コミュニティ形成にも役立っている。また、春・秋に毎年15町内に花苗を配布し、道路沿いを花で彩るなど、環境美化に対する意識の高さが伺える。
	環境教育部門	団体	会津若松市立 第五中学校	毎年、門田地区環境美化推進協議会と協力しながら、学校前の道路(約500m)に生徒自身の手で植栽を行い、また、学校周辺地区(約1.5km)を東西南北のコースにわけ、通学路などのゴミ拾いに取り組んでいる。そのほか、環境ボランティア委員が中心となり、節電や古紙類の分別、エコキャップ回収や古着回収にも力を入れるなど、地域や学校の環境整備・環境改善に学校全体で取り組もうとする姿勢は評価に値する。
自然環境部門	事業所	学校法人中沢学園 みなみ若葉幼稚園	「森林の保全と再生」という観点から、県産材、県産間伐材の利用促進を目指し、園舎の内装を木質化したり、木製の遊具・ベンチ・プランターなどを導入している。また、ソーラー温水パネルや太陽光発電、ペレットストーブなど、再生可能エネルギー設備の設置にも積極的に取り組んでいる。さらに、園敷地内の緑地をより自然に近い形で残し、虫や植物が育つ環境の中で、園児たちに様々な体験をさせるなど、自然環境と幼児教育を融合させた、事業所独自の工夫が見られる。この取り組みを基に、園児はもちろんのこと、教職員や保護者、さらには地域住民への自然環境意識の向上が大いに期待できるものである。	